スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

京都府 京田辺市

自 治 体 名 ： 京都府京田辺市
担 当 課 名 ： 京田辺市教育委員会こども・学校サポート室
電 話 番 号 ： 0774-64-1325

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	42.92 ㎢
人口	71,993 人
公立中学校数	3 校
公立中学校生徒数	1,940 人
部活動数	39 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現状

市内3中学校のうち２校は生徒数が減少しており、うち１校では、２学期以降、市外の中学校と合同チームの活動を行ったりや試合で交代の選手がいなかったりする状況にある。

市全体の人口推計（令和４年度時点）から考えると、生徒数は令和７年以降に減少していく。団体種目の活動はさらに厳しくなることが予想される。

部活動の指導を行う教職員は、勤務時間が多くなる傾向にある。また、育児・子育てを行っている、未経験の種目の顧問として指導している等の教職員にとって、休日の部活動が負担と感じている割合が64%となっている。

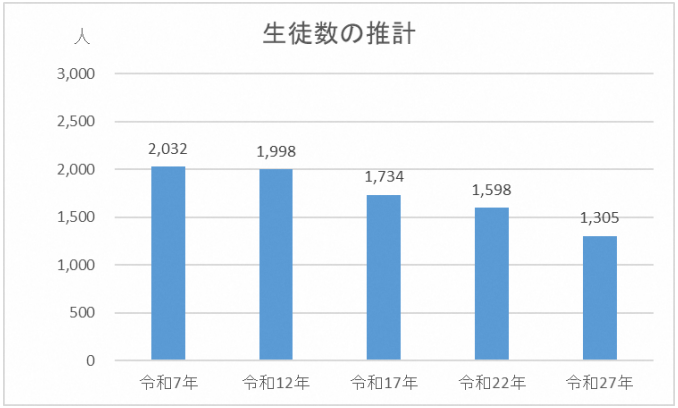
課題

全体の運営を行う母体をどうしていくのか。持続可能な組織作りを構築していく。

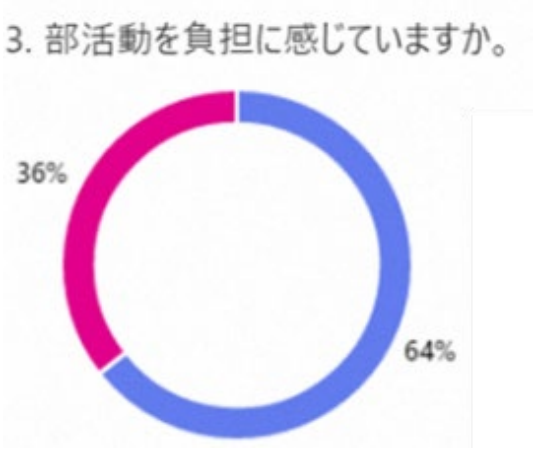
市内に中学生を受入可能な団体がいくつ存在するのか。受け入れてもらえる人数の把握。

受け皿となる団体を見つけていかなければならない。指導者の確保する必要がある。

既存のクラブにない競技や種目についてどのように実施していくかなど、課題は多くある。



（令和４年度時の本市推計による）



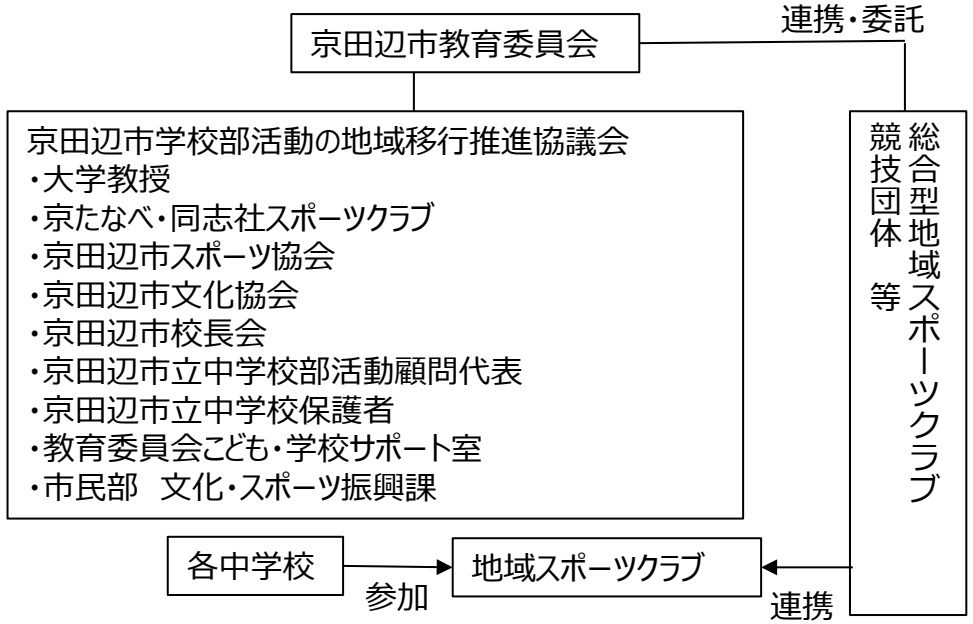
（R6.7 教職員意識調査）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会（こども・学校サポート室）

・京田辺市学校部活動の地域移行推進協議会　事務局
・学校との連携

◉首長部局（市民部　文化・スポーツ振興課）

・京田辺市学校部活動の地域移行推進協議会　委員
・スポーツ協会やスポーツ団体、文化協会等との連携

年間の事業スケジュール

令和６年１月	第1回京田辺市地域移行準備検討会
令和６年３月	第2回京田辺市地域移行準備検討会
令和６年７月	生徒・教職員への意識調査
令和６年８月	第１回京田辺市学校部活動の地域移行推進協議会
令和６年10月	第２回京田辺市学校部活動の地域移行推進協議会
令和６年10月	各中学校長より職員会議で教職員へ周知
令和６年11月	京田辺市中学校部活動代表顧問会議で説明
令和６年11月	学校部活動の地域移行に係る実証事業開始（剣道・ハンドボール）
令和６年12月	第３回京田辺市学校部活動の地域移行推進協議会
令和７年１月	学校部活動の地域移行に係る実証事業追加実施(陸上競技)
令和７年３月	第４回京田辺市学校部活動の地域移行推進協議会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	3 校	実施した地域クラブ総数	3 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 クラブ（ 7 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		無し
全体の指導者数	9 人	全体の運営スタッフ数	8 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
剣道クラブ	総合型地域スポーツクラブ	剣道(新)	月2回程度	午前又は午後3時間程度	1･2年	11月から2月	中学校体育館	4人	6人	なし	なし
ハンドボールクラブ	競技団体	ハンドボール(新)	月2回程度	13:00から16:00	1年	11月から2月	中学校体育館	5人	2人	なし	なし
陸上クラブ	競技団体	陸上競技(新)	1回	13:00から16:00	1･2年	1月	中学校グラウンド	1人	1人	なし	なし

2.実証内容と成果

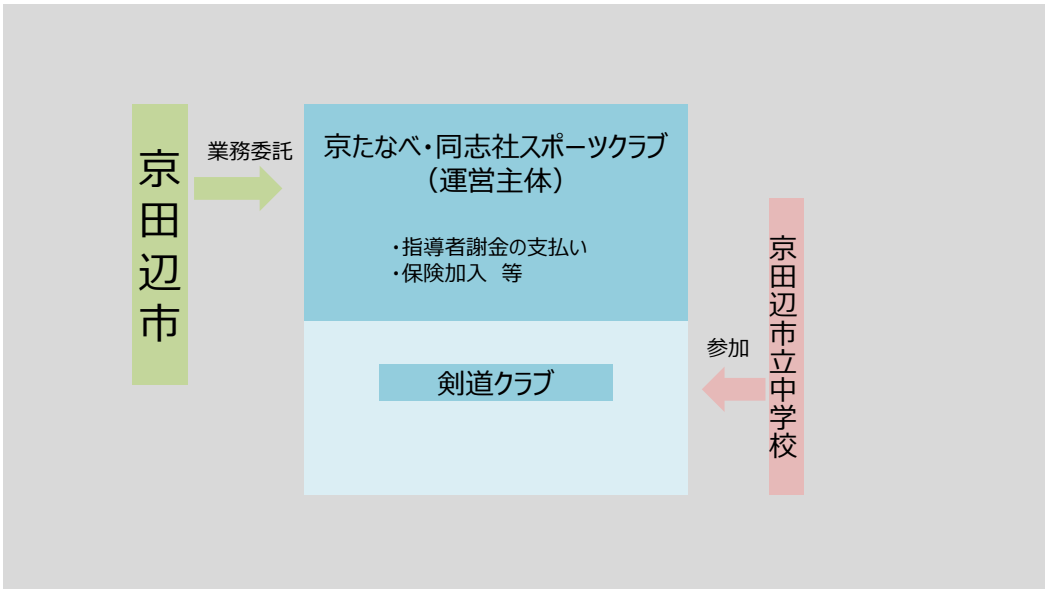
スポーツ庁

主な取組例

●剣道クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	剣道
運営団体名	京たなべ・同志社スポーツクラブ
期間と日数	剣道　11月から2月　月2回程度
指導者の主な属性	地域住民、兼職兼業の教諭
活動場所	京田辺市立中学校体育館
主な移動手段	徒歩、自転車
１人あたりの参加会費等（年額）	なし
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●事務責任者

役割：指導者謝礼支払い業務、指導者、生徒保険加入業務等を行う

●主任指導者　１ 名

役割：日程調整、生徒の出欠管理等を行う

●指導者・指導補助者　３ 名

役割：指導等を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保　／　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項（ア）

京田辺市学校部活動の地域移行推進協議会を設置し、実証事業を行う地域クラブを決定する。また、京都府が示した推進指針をもとに京田辺市地域クラブ活動の活動マニュアルを策定する。

取組事項（ア）

実証事業として、剣道、ハンドボールと陸上競技で地域クラブ活動を実施した。その際、運営団体として、地域クラブ活動を実施している総合型地域スポーツクラブや競技団体と連携し、運営方法の共有等を行うことができた。

取組事項（イ）

学校部活動が培ってきた良さを、地域クラブ活動につなげられるように、地域の指導者だけでなく、教職員アンケートで地域クラブへ移行後も指導に積極的に関わりたいという教職員も兼職兼業で関わることで指導者の質と量を確保できるようにしている。

取組事項（イ）

教職員が関わることで、生徒同士のトラブルもなく、スムーズに活動を行うことができた。また、指導者が１人や2人でなく、専門の指導者が複数で指導にあたることで、より多くの目で生徒の様子等の確認や、専門的な指導を受けることができ、より充実した活動を行うことができた。

取組事項（ウ）

スポーツ協会等の関係団体に、京田辺市学校部活動の地域移行推進協議会の委員として参画していてもらう。

取組事項（ウ）

関係団体が協議会に参加してもらうことで、課題等を共有することができた。また、各競技団体へのヒアリングを行ってもらうことで、どの競技に受け皿となる団体があるのかを把握する。

今後の課題と対応方針

現時点では、教育委員会事務局が、各団体や各中学校と連携をとりながら進めている。今後の運営団体が未定であり、その在り方について協議会で協議を進めていき、早期に決める必要がある。その後、活動マニュアルに則って活動していただく、地域クラブの登録を行っていき、中学校施設を活用できるようにする。

スポーツ協会のヒアリングの結果をもとに受け皿となる団体や指導者の確保に努めていく。また、総合型地域スポーツクラブにも運営の一端を担っていただけるよう連携していく。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

京田辺市学校部活動の地域移行推進協議会を設置し、関係機関との連携を密にしつつ、実証事業を行う地域クラブを決定しました。また、京都府の推進指針を参考に、京田辺市独自の活動マニュアルを策定することで、地域クラブの運営に関する具体的な指針を示した。

学校部活動で培われた指導ノウハウを地域クラブに継承するため、地域の指導者だけでなく、兼職兼業の教職員も指導者として参加した。教職員アンケートの結果、34%の教職員が地域クラブでの指導に関心を示している。

関係団体が協議会に参加し、情報交換や意見交換を行う機会を設けました。さらに、スポーツ協会の各競技団体へのヒアリングを実施することで、地域における競技の現状を把握に努め、今後に向けた具体的な方策を検討していく。

●成果の評価

剣道、ハンドボールと陸上競技での実証事業を通じて、総合型地域スポーツクラブや競技団体との連携を強化し、運営ノウハウを共有することで、円滑な活動運営を実現しました。

教職員の参画により、生徒間のトラブルを未然に防ぎ、安全で質の高い指導を実現しました。また、複数の指導者による指導体制により、生徒一人ひとりにきめ細やかな指導を行うことが可能となった。

関係団体との連携を深め、課題を共有することで、地域全体で地域スポーツクラブ活動の活性化を図るための基盤を築きました。各競技団体との連携強化により、競技種目ごとの課題解決に向けた取組を進める。

●今後に向けて

各競技団体へのヒアリングの結果をもとに受け皿となる団体との連携を行い、実証事業の地域クラブ活動数を増やしていくとともに、より多くの生徒がスポーツ活動を楽しめる環境づくりを行っていく。また、少子化や多様なニーズに対応するためのスポーツ活動も考えていく。さらに、会費や指導者の確保・質の向上も踏まえて、持続可能な運営体制を構築へ向けて協議会で協議していく。

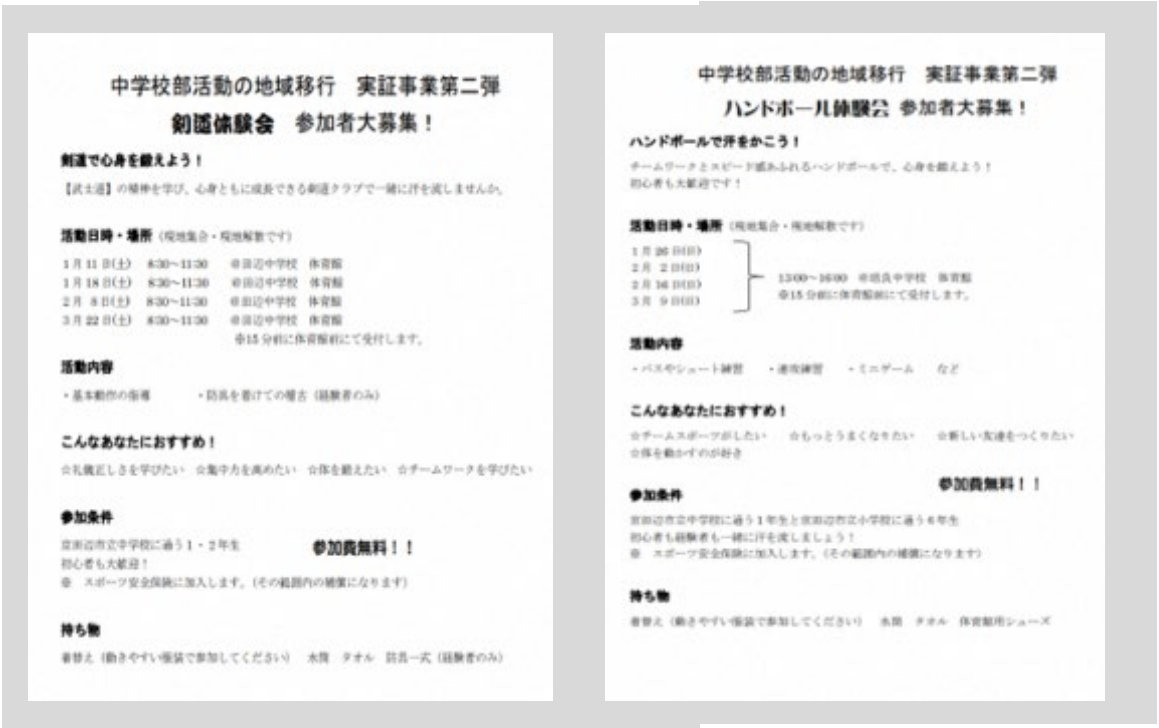
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

広報資料・参加者の声

【生徒への参加啓発チラシ】

実際のチラシでは、二次元コードを使い参加申込みを行った。また、保護者連絡ツールを使い、保護者へも周知した。



中学校部活動の地域移行　実証事業第二弾

剣道体験会　参加者大募集！

剣道で心身を鍛えよう！

【武士道】の精神を学び、心身ともに成長できる剣道クラブで一緒に汗を流しませんか。

活動日時・場所（現地集合・現地解散です）

1月11日(土)　8:30~11:30　※○○中学校　体育館
1月18日(土)　8:30~11:30　※○○中学校　体育館
2月 8日(土)　8:30~11:30　※○○中学校　体育館
3月22日(土)　8:30~11:30　※○○中学校　体育館
※15分前に体育館前にて受付します。

活動内容

・基本動作の指導　・防具を着けての稽古（経験者のみ）

こんなあなたにおすすめ！

☆礼儀正しさを学びたい　☆集中力を高めたい　☆体を鍛えたい　☆チームワークを学びたい

参加条件

○○市立○○中学校に通う1・2年生　**参加費無料！！**
初心者も大歓迎！
※　スポーツ安全保険に加入します。（その範囲内の補償になります）

持ち物

着替え（動きやすい服装で参加してください）　水筒　タオル　防具一式（経験者のみ）

中学校部活動の地域移行　実証事業第二弾

ハンドボール体験会 参加者大募集！

ハンドボールで汗をかこう！

チームワークとスピード感あふれるハンドボールで、心身を鍛えよう！
初心者も大歓迎です！

活動日時・場所（現地集合・現地解散です）

1月26日(日)
2月 2日(日)
2月16日(日)
3月 9日(日)
13:00~16:00　※○○中学校　体育館
※15分前に体育館前にて受付します。

活動内容

・パスやシュート練習　・連携練習　・ミニゲーム　など

こんなあなたにおすすめ！

☆チームスポーツがしたい　☆もっとうまくなりたい　☆新しい友達をつくりたい
☆体を動かすのが好き

参加条件　**参加費無料！！**

○○市立○○中学校に通う1年生と○○市立○○小学校に通う6年生
初心者も経験者も一緒に汗を流しましょう！
※　スポーツ安全保険に加入します。（その範囲内の補償になります）

持ち物

着替え（動きやすい服装で参加してください）　水筒　タオル　体育館用シューズ

●参加者の声

中学２年生

部活動と違う種目を経験する機会になってよかった。見ているのと実際に行うのでは、全然違って楽しかったです。

中学１年生

違う学校の生徒も一緒に練習するのが部活動とは違って新鮮だった。学校の先生以外の人にも教えてもらえて良かった。

保護者

今後どうなっていくのか不安な部分もありますが、今日の活動の様子を見て、子どもが楽しそうにしているので、少し安心しました。

指導者

中学校の時にお世話になった先生と一緒に指導するので、初めての指導でも不安はありませんでした。市内で声をかけられるので、嬉しさ半分、恥ずかしさ半分です。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【ハンドボールの練習の様子】



【ハンドボールの練習前の集合】



【剣道の練習の様子】



【陸上競技の練習の様子】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和５年度		令和６年度		令和７年度
検討開始	実証事業種目の検討 移行スケジュール検討	生徒、教職員へのアンケート調査	協議会設置	実証事業地域クラブ活動開始 ガイドラインの策定	地域クラブ活動の拡大 運営母体の検討

●ステークホルダー

総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会、文化協会、中学校、こども・学校サポート室、文化・スポーツ振興課、保護者、大学教授

●経過

令和５年度に関係団体等と検討を始めた。令和６年度に協議会を設置した。

●実施にあたって生じた課題

地域スポーツクラブへの移行についての認識に違いがあり、見通しが定まらない中で会議を行ったため、議論が空回りした。

●実施内容、工夫した点 等

ビジョンやスケジュールを作成し、原案をもとに協議して、作成した。また、次回に向けて資料を配付し、各団体の中でも協議してもらった。

●ステークホルダー

生徒、教職員

●経過

実証事業に向けて、部活動に対する意識調査として、令和６年７月に生徒、教職員へのアンケートを行った。

●実施にあたって生じた課題

アンケート項目についての検討に時間を費やした。

●実施内容、工夫した点 等

二次元コードによりアンケートに回答してもらうことで回収や分析が行いやすかった。また、教職員の部活動の地域移行に対する不安を知ることができた。生徒は、他校との生徒との交流があるのが楽しみ等前向きな答えが、約80%あった。

●ステークホルダー

総合型地域スポーツクラブ、競技団体、中学校、生徒、保護者、指導者

●経過

実証事業として、剣道とハンドボールから始めることとした。

●実施にあたって生じた課題

欠席連絡の方法や責任の所在等多くの課題が浮き彫りになった。

●実施内容、工夫した点 等

二次元コードで参加集約を行ったので、人数や名前、連絡先等の把握が容易であった。兼職兼業の教諭に関わってもらえたことで、生徒との関係もスムーズで大きなトラブルもなく実施することができた。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	令和６年度	令和７年度	令和８年度
協議会	ビジョンや方向性の検討 実証事業種目の検討 ガイドラインの策定に向けて協議 運営母体の検討 等	運営母体の検討 適切な会費の検討 実証事業種目の検討 ８年度中の休日の全面実施にむけて 等	８年度中の休日の全面実施にむけて 等
地域クラブ活動	実証事業開始 剣道　ハンドボール　陸上競技	実証事業種目数の増加 運動部３　文化部１	実証事業種目数の増加 運動部３　文化部１
関係団体等との連携	各競技団体等へのヒアリング	受け皿となる団体へのヒアリング 大学と指導者講習会実施に向けて検討	８年度中の休日の全面実施にむけて各団体と協議等